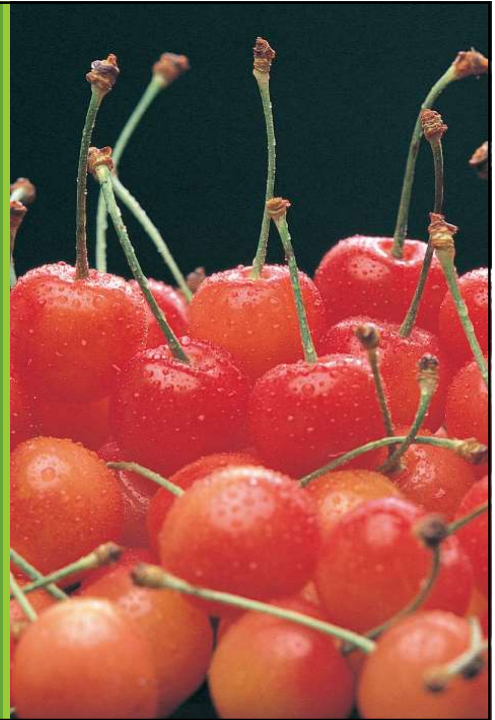


# 1 山形県の教育

- 目指す教育
- 目指す教師像
- 特色ある教育



## 山形県の目指す教育

### 第6次山形県教育振興計画

#### 【基本目標】

「人間力に満ちあふれ、  
山形の未来をひらく人づくり」

#### 【目指す人間像】

「いのち」をつなぐ人  
学びを生かす人  
地域をつくる人

〈テーマ〉 つなぐ ～いのち、学び、地域～

〈目指す人間像〉

### 「いのち」をつなぐ人

自分の存在や生き方を大切にしながら、多様性や個性を受け止め、他者の生命や生き方を尊重する人。先人から自分へと受け継がれてきた生命を、次の世代につないでいく人。

### 学びを 生かす人

学びを重ねることを通して、知徳体を磨き、自ら考え、主体的に判断し、変化や困難に直面しても柔軟かつ的確に対応できる人。多様な他者と協働しながら新たな価値を生み出し、学びを人生や社会に生かす人。

### 地域を つくる人

郷土を愛し、地域とつながり続ける人。地域コミュニティの一員として、あるいは地域と継続的かつ多様な形で関わり、地域のよさや課題を主体的に捉え、地域の人と協働することを通して、地域の未来をつくる人。

### 広い視野と高い志を持って (全体を貫く基本姿勢)

夢や希望を持って、その達成に向け行動し続ける姿勢。地域の窓から世界を見るなど広い視野で物事を考え、より高い価値の創造に果敢に挑戦し続ける人。

## 採用時に求める教員の姿

1. 児童生徒への深い教育愛と教育に対する強い使命感、責任感のある方
2. 明るく心身ともに健康で、高い倫理観と規範意識を備え、法令を遵守する方
3. 豊かな教養とより高い専門性を身につけるために、常に学び、自らを向上させる姿勢をもち続ける方
4. 山形県の教員として、郷土を愛する心をもち、人とのつながりを大切にして、地域社会においてよりよい学校を築こうとする方

1 山形県の教育

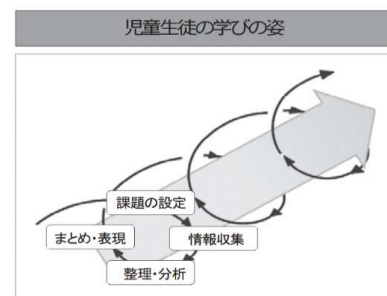
## 特色ある教育

### ○教育やまがた「さんさん」プラン

少人数学級のメリットを生かしたきめ細やかな指導の充実により、個の能力を最大限に伸ばし、「わかる授業」「いじめや不登校のない楽しい学校」を目指す

### ○探究型学習

- ・「課題の設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の一連の探究活動
- ・児童生徒の**主体的・協働的な学び**
- ・課題解決のために必要となる思考力・判断力・表現力等を育む



「個別最適な学び」「協働的な学び」

1 山形県の教育

## 2 職場環境

- 働き方改革
- 人材の活用
- 負担軽減に向けて



### 学校における働き方改革

～令和4年度の重点の取組み～

- 勤務時間**に関する意識啓発と管理の徹底
- 適切な**部活動運営**の推進
- 教員が**担うべき業務**の明確化と適正化
- 教員の**事務負担**の軽減
- 保護者・地域**への周知と地域人材の活用

#### 山形県公立学校における働き方改革 ～令和4年度【概要】～

- 取組み重点期間（第1期）：令和2年度～令和4年度
- 時間外在校等時間の基本方針：月45時間、年300時間を超えない

#### 令和4年度・第1期の具体的目標

- ☑ 第1期：令和4年度までに複数月平均の超過勤務時間<sup>※1</sup>80時間を超える教員数0人を目指す
- ☑ 4年度：1人1か月あたりの超過勤務時間<sup>※1</sup>を前年度比20%削減する
- ☑ 4年度：1人1か月あたりの超過勤務時間<sup>※1</sup>が80時間を超える教員を前年度比40%減とする

※1：在校時間における超過勤務時間

#### 令和4年度の重点取組み

働き方改革プランで掲げた10本の柱（重点取組み）に沿った改革を推進しながら、以下の5項目について継続して重点的に取り組む。

- ☑ **勤務時間に関する意識啓発と管理の徹底**
  - 革新的な勤務時間管理システムの構築と運用を促進するとともに、管理職による勤務時間管理の意識啓発を推進する
- ☑ **教員が担うべき業務の明確化と適正化**
  - WEBを活用した働き方改革の好実践例の収集と発信を随時行い、学校や教員が担うべき業務についての相互的な促進を図る
- ☑ **適切な部活動運営の推進**
  - 「部活動の在り方に関する方針」を遵守した活動を推進し、教員の負担軽減に取り組む
  - 地域活動部活動推進事業の研究校における実践研究を行い、新しい気づきや取組の共有を目指す
- ☑ **教員の事務負担の軽減**
  - 業務支援システム・ソフトの活用や人的支援・外部人材の活用による業務分担の負担軽減を促進する
  - 県教育センターのWEBページ「授業準備システム」の活用を促進し、授業・教材準備の負担軽減を図る

- ☑ **保護者・地域への周知と地域人材の活用**
  - 地域学校協働活動推進員による地域とのコーディネート業務の好事例を発信し、地域との協働を促進する
  - PTA連合会等へのオンラインを活用した説明を実施し、地域・保護者の理解と協力を深める

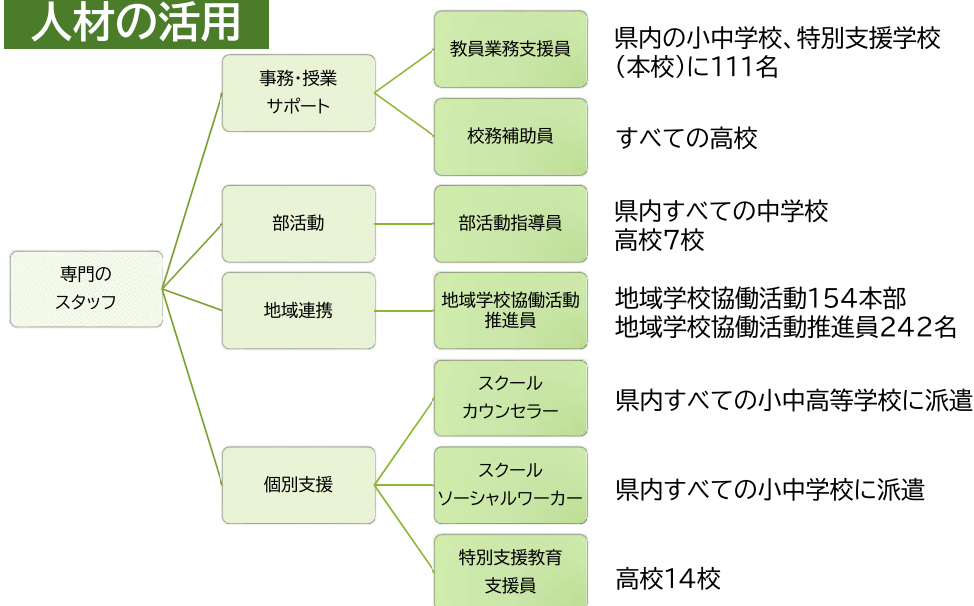
#### 令和3年度「市町村教委働き方改革オンラインミーティング結果報告」

- テーマ「80時間超の教員数をゼロにするために」今後取り組むこと 令和4年2月18日開催
- ☑ 客観的勤務時間管理
  - ☑ 面談（長時間勤務者との面談による具体的な業務負担軽減）
  - ☑ 部活動改革（休日の部活動の地域移行、複数顧問制が可能になる適正な部活動制）

#### 令和3年度上期概要

80時間超の人数（令和3年度上期6か月平均80時間超人数）			
◆ 小学校 11人 (16人)	◆ 中学校 147人 (95人)	◆ 特別支援学校 0人 (0人)	◆ 高等学校 176人 (83人)
時間外在校等時間（1人1か月あたり平均）			
◆ 小学校 36時間 21分 (34時間 10分)	◆ 中学校 48時間 02分 (43時間 56分)	◆ 特別支援学校 22時間 48分 (22時間 18分)	◆ 高等学校 45時間 30分 (38時間 30分)

## 人材の活用



左記以外にも、市町村独自に

- ・学習支援
- ・特別支援
- ・教育相談
- ・読書活動
- ・日本語指導
- ・外国語指導等々

を担当する方がたくさんいます。



2 職場環境

## さらなる負担軽減に向けて

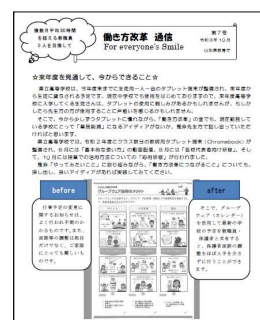
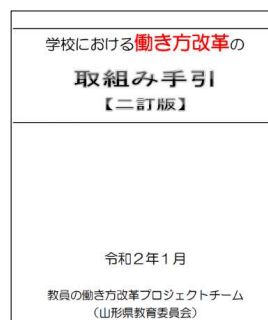
- 統合型校務支援システム**  
校務処理の標準化、データ管理
- 留守番電話**  
勤務時間外の電話対応
- デジタル採点**  
PC上でテストの採点、集計まで
- 欠席連絡、文書配布等をICT化**  
始業前の電話対応削減、印刷等の業務削減
- 学校給食費の公会計化**  
未納等の処理
- 出張や研修**  
整理・統合、長期休業中の休暇

### □ 「取組み手引」

各校での良い実践例をまとめ、さらなる改善に役立てる

### □ 「働き方改革通信」

働き方改革の通信を発行し、意識啓発を図る



2 職場環境



### 3 待遇

- 給与等
- 休暇等
- 福利厚生



#### 給与・手当

- 給与
  - ・ **他県における教職期間も含めた職歴を加算**して算定
- 退職金
  - ・ 他県退職時には支給されない
  - ・ **山形県が職歴を引継ぎ**、山形県で退職する際に**一括して支給**
- 手当
  - ・ 期末勤勉手当
    - 4. 35ヶ月分(令和4年度実績)を、6月と12月に分けて支給
  - ・ 住居手当
    - 例) 一ヶ月の家賃が¥50,000のアパートを借りた場合¥23,500
  - ・ 扶養手当
    - 扶養する配偶者、子、祖父母等がいる場合に支給
  - ・ 通勤手当
    - 通勤距離、通勤方法に応じて支給

他にも様々あります

## 休暇等

- 勤務時間 ・週あたり 38時間45分(1日あたり7時間45分)  
・休日は、土曜日・日曜日、祝日、年末年始

- 休暇・休業(主なもの)

休暇名	日数	備考
年次有給休暇	20日	翌年への繰り越しあり
夏季休暇	6日	7~9月に取得
リフレッシュ休暇	5日	満30、40、50歳
私傷病休暇	90日	生活習慣病休暇への引き継ぎあり
生活習慣病休暇	180日	がん等を含む生活習慣病や精神性疾患
忌引休暇	10日	1~10日の範囲
子ども看護休暇	5日	中学校就学前の子どもの看護 小学校就学前の子どもの健診、予防接種 等
家族看護休暇	5日	疾病、負傷のための看護
婚姻休暇	7日	新婚旅行等で取得する方が多い

3 待遇

## 休暇等

令和4年10月1日から育児休業・育児参加休暇が  
より柔軟に取得できるようになりました！

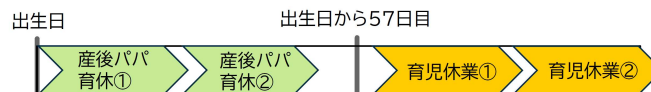
育児休業が最大4回まで分割して取得可能になります

育児休業について

- 子の3歳の誕生日の前日まで、育児休業を**原則2回**(改正前：原則1回)まで取得可能

※非常勤職員は、原則子の1歳の誕生日の前日まで

- 上記育児休業とは別に、子の出生の日から57日間以内にする育児休業(産後パパ育休)を**2回**(改正前：1回)まで取得可能



育児参加休暇の取得可能期間が拡大されます

育児参加休暇について

- 取得可能期間：**出産の日以後1年を経過する日まで**  
(改正前：出産の日後8週間を経過する日まで)

※上の子を養育する場合、出産予定日の6週間前  
(多胎妊娠の場合14週間前)から取得可能

- 付与日数：5日間(時間単位での取得が可能)

3 待遇

## 福利厚生

- 採用と同時に「公立学校共済組合員」
- 検診事業(年1回の定期健康診断、人間ドック)  
東北中央病院は山形県にあります
- 給付事業(病気、災害、厚生年金)
- 貸付事業(住宅、結婚、出産、教育)
- 健康相談、メンタルヘルス相談
- ライフステージに合わせた祝金、見舞金
- リフレッシュ推進(プロスポーツ体感、宿泊利用補助)



3 待遇

## 4 試験の 変更点



## 変更点

### 1. 実施要項の現物配付の(原則)廃止、電子申請による出願

<従来> 実施要項(現物)の入手  
特別選考、加点申請等に係る書類のダウンロード  
郵送で提出・出願

<来年度> **実施要項**、特別選考、加点申請等に係る書類のダウンロード  
山形県の**電子申請システム**による出願  
顔写真、エントリーシート等は**電子データを登録**  
**特別選考、加点申請等**に係る書類は**郵送**で提出

※4月下旬にアップ予定

4 試験の変更点

## 変更点

### 現職・元職特選の場合、併願はできません。

### 2. 一部教科(国語・英語・家庭)の中学校・高等学校併願

<従来> 次の①、②の組合せのみ併願可能  
①小学校 と 特別支援学校小学部  
②中学校 と 特別支援学校中学部(同一教科)

<来年度> 次の③も含め、①～③の**いずれか**の組合せで併願可能  
③**中学校 と 高等学校**(同一教科)

※③の併願は、**国語、英語、家庭**のみ可

※**国、英、家の問題は中高共通**となる予定→詳細は今後

※中学校志願者が、特支中学部と高等学校を同時に併願することは不可

4 試験の変更点



## 変更点

### 3. 集団討議の廃止

<従来> ~R2採用(R1実施) → 一次試験で実施  
一次試験の日程:1日目=筆記・実技(中高の該当教科のみ)  
2日目=集団討議  
R3~R5採用(R2~R4実施) → コロナにより休止

<来年度> **廃止**(コロナが収まっても実施しない)

※二次試験の個人面接において「場面指導等」を実施  
(R5採用(R4実施)から)

4 試験の変更点

## 変更点

### 4. 特別免許状の取得を前提とした「高等学校情報」の採用

教員免許状がなくても、次の①~③を満たした場合、「社会人特別選考」で受験可能(合格した場合、「特別免許状」を取得する必要がある)

- ①大学で情報に関する正規の課程を修了
- ②情報に関連する**実務経験5年以上**
- ③情報関係の**資格**を所有

<資格要件>

応用情報技術者	データベーススペシャリスト
ITストラテジスト	エンベデッドシステムスペシャリスト
システムアーキテクト	ITサービスマネージャ
プロジェクトマネージャ	システム監査技術者
ネットワークスペシャリスト	情報処理安全確保支援士

4 試験の変更点

## 変更点

### 5. 元職教員特別選考の志願資格緩和

- <従来> H27.4.1～R4.3.31の間に、  
本県で正規教員3年以上、退職後5年以内
- <来年度> ・本県又は他県等の公立学校で正規教員3年以上  
・勤務していた時期に関する規定は廃止

(〇年4月1日から〇年3月31日までの間で)

### 6. パーパーティーチャー説明会の実施(R5.2.4実施) →

教員免許状を所有しているが、教員として勤務したことが  
ない方々を対象とした説明会を実施しました  
不安を取り除き、一人でも多く学校教育に力を貸していただく



4 試験の変更点

## 変更点

### ☆コロナによる変更点

- ・ 中学校、特支中学部、高校「保健体育」受験者の実技「水泳」は  
今年度同様休止とします

(参考)

- ・ 小学校、特支小学部の実技「水泳」はコロナに関わらず廃止となっ  
ています

4 試験の変更点

## 5 試験の概要 ・ 試験結果等



### 選考を行った校種等、教科・科目と採用見込数

※R4実施のもの

校種等		教科・科目	採用数
小学校教諭 (小学校英語を含む)			185名
中学校教諭		国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	83名
特別支援学校教諭		小学部 中学部(中学部教諭の教科は中学校教諭に同じ)	25名
高等学校	教諭	国語、地理、「世界史・日本史」、公民、数学、生物、保健体育、英語、家庭、情報、農業、機械、電気、建築、土木、商業、看護、福祉	37名
	助教諭	機械、電気、建築、土木	
養護教諭			16名
栄養教諭			1名

## 選考区分

※合格者数はR4実施のもの

区分	志願資格	合格者数	
一般選考	特別選考の志願資格の方以外はこちら	201	
特別選考	講師等	本県の講師等(非常勤も含む)を、 <b>通算13ヶ月以上</b>	40
	現職教員Ⅰ・Ⅱ	<b>現在</b> 、本県以外において正規採用として、 <b>3年以上継続</b> ※ <b>3年目</b> の方も可	42
	大学推薦	校種等、教科・科目で、大学より1名(規定による)	40
	社会人	教科・科目と関連する実務経験を、 <b>5年以上継続</b> (英語、工業、情報、看護、福祉)	2
	前年度二次Bランク	前年度一次合格、二次不合格でBランクの方	20
	障がい者	障がいのある方	1
	スポーツ	国際大会出場、全国3位以上の指導実績 ※高校の保健体育のみ	1
	元職教員Ⅰ・Ⅱ	本県又は他県等で正規採用として3年以上継続して勤務	志願なし

※ 元職・現職Ⅰ(高校以外)、元職・現職Ⅱ(高校)

5 試験の概要・結果

## 現職教員特別選考Ⅰ・Ⅱ

### ○志願資格

- ・(全選考区分共通) 学校教育法第9条の欠格事由及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない者
- ・**昭和49年4月2日**以降に出生した者
- ・令和6年3月31日時点で、本県以外において、**志願する校種・教科・科目又は養護教諭・栄養教諭の職で、国立大学法人附属学校並びに公立の**小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の正式採用教員\*として、**3年以上**継続して在職している者  
\*正式採用教員とは期限を付さないで採用された者

5 試験の概要・結果



## 現職教員特別選考Ⅰ・Ⅱ

### ○選考区分の違い

- ・ 現職教員特別選考Ⅰ

- ➡ 小学校、中学校、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭

一次試験は全て免除

二次試験のうち、「実技試験」免除

- ・ 現職教員特別選考Ⅱ

- ➡ 高等学校

一次試験のうち、「教職教養・一般教養」免除

5 試験の概要・結果

## 現職教員特別選考Ⅰ・Ⅱ

### ○提出書類

- ・ 在職証明書

- ➡ 様式を県ホームページからダウンロード  
任命権者に作成を依頼  
厳封親展にて提出

- ・ 勤務状況調書

- ➡ 様式を県ホームページからダウンロード  
所属長に作成を依頼  
厳封親展にて提出

5 試験の概要・結果

## 元職教員特別選考Ⅰ・Ⅱ

### ○志願資格

- (全選考区分共通) 学校教育法第9条の欠格事由及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない者
  - **昭和39年4月2日**以降に出生した者
  - **志願する校種・教科・科目又は養護教諭・栄養教諭の職**で、本県または本県以外の**国立大学法人附属学校**並びに**公立の**小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の正式採用教員\*として、**3年以上**継続して勤務した経験のある者
- \*正式採用教員とは期限を付さないで採用された者

5 試験の概要・結果

## 元職教員特別選考Ⅰ・Ⅱ

### ○選考区分の違い

- 元職教員特別選考 **Ⅰ**
  - ➔ 小学校、中学校、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭

一次試験は全て免除

二次試験のうち、「実技試験」免除

- 元職教員特別選考 **Ⅱ**

➔ 高等学校

一次試験のうち、「教職教養・一般教養」免除

5 試験の概要・結果

## 元職教員特別選考 I・II

### ○提出書類

- ・ 職歴証明書
  - ➔ 様式を県ホームページからダウンロード  
任命権者に作成を依頼  
厳封親展にて提出

5 試験の概要・結果

## 試験項目・内容

※R4実施のもの

試験	試験項目	時間	具体的内容
一次試験	教職教養・一般教養	80分	教育法規、教育心理等の教職教養 と 一般教養
	小論文	80分	指定されたテーマについて、1000字以内で論述
	教科・科目	110分	出願した教科・科目の内容 (実技がある教科・科目では、90分で実施)
	実技試験	—	一部の校種等、教科・科目のみ
二次試験	個人面接1・2	—	面接官数名と受験者との面接 「場面指導等」を含む
	作文	—	指定されたテーマについて、800字以内で作文
	実技試験	—	小学校と特別支援学校小学部 英語と音楽の選択

校種等、教科・科目、選考区分によって、試験内容は異なります。

5 試験の概要・結果

## 選考区分と試験項目

※R4実施のもの

### □一次試験

	一般選考	特別選考				現職・元職Ⅰ 前年度一次
		現職・元職Ⅱ 大学推薦	講師等 社会人	スポーツ	障がい者	
教職教養 ・一般教養	○	免除	—	免除	○	免除
小論文	—	—	○	○	—	
教科・科目	○	○	○	免除	○	
実技試験	○	○	○	免除	○	
面接	—	—	—	○	—	

5 試験の概要・結果

## 実技試験のある校種等

※R4実施のもの

校種等、教科・科目		試験内容	
一次	中学校	音楽	・新曲視唱、新曲視奏、ピアノ演奏、歌唱指揮 ・随意曲選択演奏(歌唱または器楽)
		美術	・水彩画
	中学校 高等学校	保健体育	・次の領域から2領域選択 陸上競技、器械運動、球技(バレーボール、バスケットボール、 サッカーのうち1種目)、武道(柔道、剣道のうち1種目)、ダンス
	中学校	技術	・木材加工、回路の製作
	中学校 高等学校	家庭	・調理、裁縫
		英語	・英語による面接
養護教諭		・場面对応	
二次	小学校 特支小学部	音楽(伴奏譜によるピアノ演奏) か 英語(英語による簡単な自己紹介と日常会話) のいずれかを選択	

小学校・英語の  
実技について



5 試験の概要・結果



## 作文(二次試験)のテーマ

※R4実施のもの

- 子どもと学ぶ教師とは
- 郷土の魅力を伝える指導で大切なこと
- 「いのち」を大切にすることができる生徒の育成とは
- 「人間力に満ちあふれる」児童・生徒の姿とは
- 学校行事を通じて指導したいこと
- 思いやりの心を育む教育とは

過去問の  
入手方法

過去3年分の問題等は、山形県庁1階「行政情報センター」で閲覧・複写できます  
電子申請による請求もできます

<https://www.pref.yamagata.jp/documents/31285/kakomon-get.pdf>



5 試験の概要・結果

## 一次試験の配点

※R4実施のもの

		教職教養・一般教養	教科・科目	実技試験
小学校、特支小学部		100点	150点	－
中学校 特支中学部	実技あり	100点	100点	50点
	実技なし	100点	150点	－
高等学校	実技あり	100点	200点	100点
	実技なし	100点	300点	－
	スポーツ特選	小論文120点、面接280点		
養護教諭		100点	100点	50点
栄養教諭		100点	150点	－

5 試験の概要・結果

## 二次試験の配点

※R4実施のもの

	個人面接1	個人面接2	作文	実技試験
小学校、特支小学部	210点	140点	50点	50点
中学校、特支中学部 高等学校 養護教諭 栄養教諭	210点	140点	50点	—

## あなたの配点

一次試験( )点 : 二次試験( )点

5 試験の概要・結果

## 加点制度

※R4実施のもの

	加点要件	小	中	特小	特中	高	養	栄
①	「数学」、「理科」、「音楽」、「英語」の免許状	5						
②	受験教科以外の中学校の免許状		5					
③	受験教科以外に「情報」の免許状			10	10	30		
④	受験教科以外に「福祉」の免許状					10		
⑤	「世・日」または「地理」受験者で、「公民」の免許状					5		
⑥	「公民」受験者で、「地理歴史」の免許状					5		
⑦	受験教科以外で「数学」または「理科」の免許状			10	10			
⑧	特支5領域すべての免許状			10	10			
⑨	「視覚」、「聴覚」から1+「知的」「肢体」「病弱」から2			5	5			
⑩	特支の免許状	10	10			10		
⑪	英検2級、TOEFL iBT 65点、TOEIC 600点	10		10				
⑫	「英語」受験者で英検準1級、TOEFL iBT 80点、TOEIC 730点		10		10	10		
⑬	司書教諭の資格を持っている(見込での加点はしない)	5	5	5	5	5	5	5

**現職・元職特選 I は該当しません。**

加点申請者 = **185名**

5 試験の概要・結果

## 併願制度

次の組合せ①～③において、一方の校種を第一志望、他方の校種を第二志望として出願できます。

組み合わせ①

「小学校」と「特別支援学校小学部」

← 小学校と特別支援学校の両方の免許状が必要

組み合わせ②

「中学校」と「特別支援学校中学部」

← 中学校と特別支援学校の両方の免許状が必要

組み合わせ③ **NEW**

「中学校」と「高等学校」(国、英、家のみ)

← 中学校と高等学校の両方の免許状が必要

・ポイント①

「小」と「特支小」の教科・科目の問題は同じ

「中」と「特支中」の教科・科目の問題は同じ

「中」と「高」の教科・科目の問題は同じ(となる予定) ※国、英、家のみ

・ポイント②

第一志望を特支小中、第二志望を小中で併願する方は、**第二志望で必ず加点申請**できます

**現職・元職特選の場合、併願はできません。**

試験の概要・結果

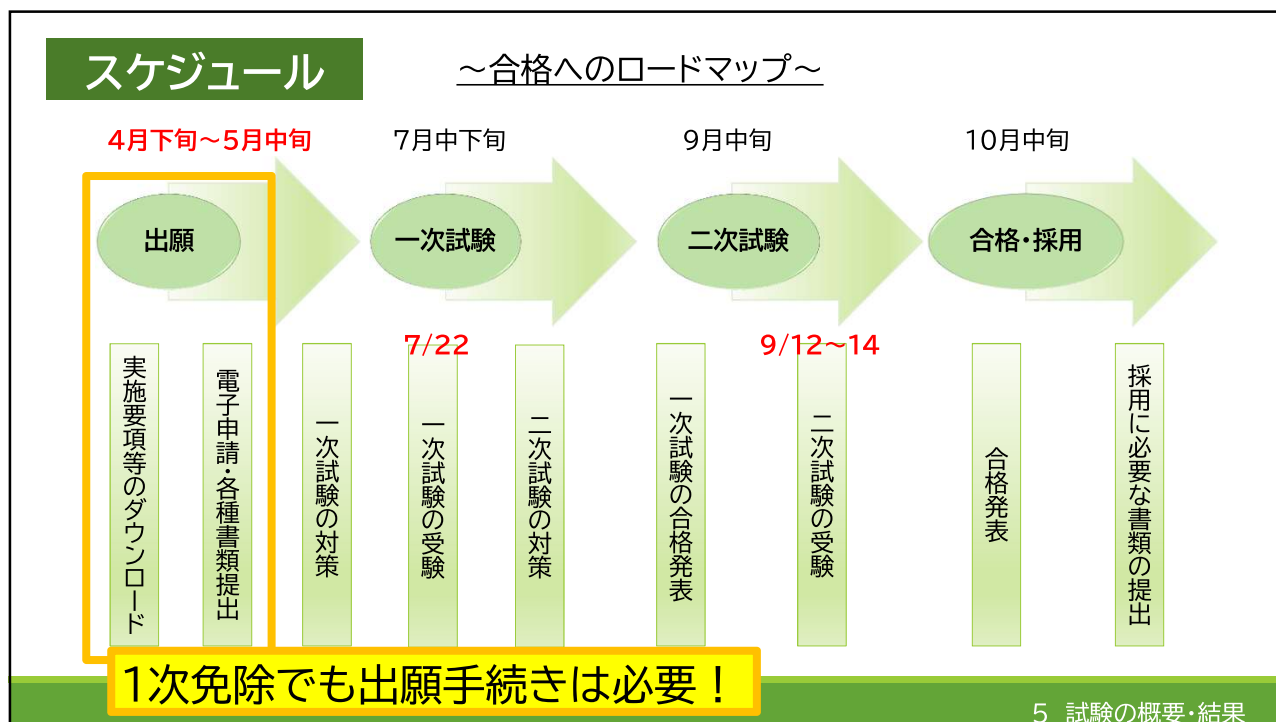
## 小学校英語

小学校の英語教育の充実を目指しています



- 英語の専科指導教員や学級担任として、小学校の英語教育を推進する役割を担う教員を採用
  - 志願要件は、小学校のほかに、中または高の英語の免許所有
  - 試験項目は小学校と同じ。二次試験の実技試験は英語選択が必須
  - 始発期は学級担任としての力量を高めます。初任研は小学校の方と一緒に(初任～3年目)
- ※ 採用当初から「英語専科」や「英語の教科担任」とは限りません
- ※ 「小学校英語」で選考漏れとなった場合でも、「小学校」で採用される可能性があります

5 試験の概要・結果



### 必要な手続き

① 「実施要項」「エントリーシート」をダウンロードする

- ※願書配付開始(予定)：令和5年4月下旬
- ※ダウンロードできない場合は現物配付

② 「電子申請」で必要事項を入力する

- ※電子申請期間(予定)：令和5年4月下旬～5月中旬
- ※エントリーシートも電子データを電子申請システムに登録

(該当者のみ)

③ 各種提出書類をダウンロードし、作成する

- ※加点申請書、特別選考関係書類は郵送で提出



## 必要な手続き

詳細は**山形県HP**をこまめにチェック！

教員採用  
Twitter



山形県HP  
(教員採用)



県HPの更新  
↓  
Twitterで  
必ずつぶやきます！

5 試験の概要・結果

## ダウンロードが必要な書類

対象者	ダウンロードが必要な書類	提出方法
全員	エントリーシート	電子申請システムに 電子データを登録
講師等特選受験者	職歴申告書	郵送 (簡易書留)
現職教員特選受験者	在職証明書★ 勤務状況調書◎	
元職教員特選受験者	職歴証明書★	
スポーツ特選受験者	スポーツ特別選考調書	
大学推薦特選受験者	推薦書☆	★:採用された自治体の教育委員会が作成 ☆:大学の教授等が作成 ◎:所属長が作成
加点申請者	加点申請書	

5 試験の概要・結果

## 一次試験

令和5年度実施予定日:令和5年7月22日(土)

**1次免除の場合は参集不要**

### ① 会場

- 山形中央高校 (小学校、特支小学部、各校種等の「保健体育」)
- 山形北高校 (各校種等の「音楽」)
- 山形県教育センター (各校種等の「技術」)
- 上山明新館高校 (上記以外)

### ② 日程

- 午前  
「教職教養・一般教養(小論文)」 → 「教科・科目」
- 午後  
「実技」 ※実技のない方は午前で終了

5 試験の概要・結果

## 二次試験

令和5年度実施予定日:令和5年9月12日(火)~9月14日(木)

### ① 会場

- 山形県教育センター

### ② 日程

- 3日間のうち、指定された半日
- 「個人面接1・2」\* 「作文」「適性検査」 \* 場面指導等を含む
- 小学校と特支小学部の「実技」は、別の日に実施

小・特小の場合	9月12日(火)	9月13日(水)	9月14日(木)
パターンA	作文・面接・適性 (半日)	実技	-
パターンB	-	実技	作文・面接・適性 (半日)

5 試験の概要・結果

## 6 合格から 採用まで



### 赴任先について

#### 1. 赴任先(地区)の希望

合格後に提出する履歴書に「**赴任希望地と理由**」を記載することができます。

#### 2. 事前連絡

3月上旬に、高校以外は**赴任地区(村山、最上、置賜、庄内)**の事前連絡があります。

#### 3. 県職員人事異動内示

**3月20日頃**(例年)に、**赴任先の校長先生から電話**があります。

#### 4. 打合せ会

3月下旬に赴任校での簡単な打合せ会を行います。

## 就労証明書

保育園の申請等で必要な場合、

**県教育庁教職員課の採用担当**で証明します。

ご相談ください。

## 研修歴

- 他県で受講し、修了した研修の履歴は引き継がれます。
- 法定研修(初任者研修、中堅教諭等資質向上研修など)を他県で受講修了している場合、**受けなおす必要はありません。**

6 合格から採用まで

## 7 山形県での生活



**山形県の暮らし**

やまがたには、ゆとりのある暮らしと  
充実した子育て環境があります。

例えば、

- 通勤時間は東京の約半分で帰宅時間も早く、有給休暇も多くとれます。
- 待機児童数は少なく、出産・子育て期の女性の就業率は全国トップ水準です。

やまがた暮らし  
情報館HP



## 仕事

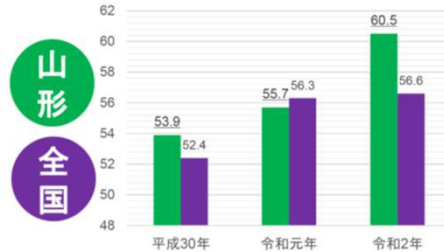
### ■通勤時間(片道)



(資料出所) 総務省「平成30年住宅・土地統計調査」

### ■年次有給休暇の平均取得率(%)

令和2年は全国平均を大きく上回る。



(資料出所) 山形県「令和2年山形県労働条件等実態調査」  
厚生労働省「令和3年就業条件総合調査」

### ■仕事からの帰宅時間



(資料出所) 総務省「平成28年社会生活基本調査」

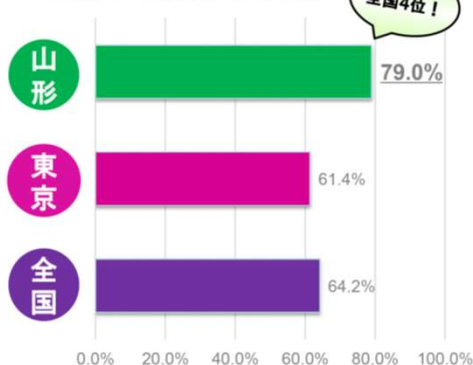
通勤時間が短く、仕事からの帰宅時間も早いため、自分の時間、家族との時間を多く取ることができます。年次有給休暇取得率も全国平均を上回っています。

## 仕事

育児中の女性の就業率が高く、働きながら子育てできる環境が整っています。

### ■育児をしながら働いている女性の割合(%)

全国平均を大きく上回る。



(資料出所) 総務省「平成29年就業構造基本調査」

### ■出産・育児を理由に離職した人の割合(%)



(資料出所) 総務省「平成29年就業構造基本調査」

### ■女性の育児休暇取得率(%)



(資料出所) 山形県「令和元年度山形県露同条件等実態調査」  
厚生労働省「令和元年度雇用均等基本調査」



## 子育て

首都圏で問題となっている「待機児童」  
山形県は、2年連続で0人を達成！

### ■待機児童数



「山形県の待機児童解消へ向けての取組」

ハード面：市町村と連携した保育所、認定こども園の整備

ソフト面：保育士確保対策及び待遇改善・届出保育施設の認可化の支援、幼稚園等における長時間預かり保育への支援 等



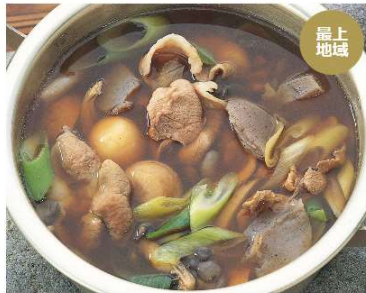
## 8 よくある質問



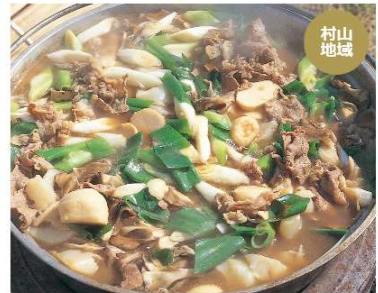
豚肉・味噌味



牛肉・しょう油味(かくし味に味噌)



牛肉・しょう油味



牛肉・しょう油味

## 採用延期制度

- 合格後、期日までに**採用延期願**を提出すれば、合格の権利をもったままで大学院へ進学、または大学院での修学を継続できる
- 大学院在学中に、**合格した校種等の専修免許状を取得**すること
- 以下の条件(どちらか)にあてはまっていればよい

### <条件>

1. 教職大学院、専修免許状の取得可能な大学院または修士号取得可能な海外の大学院に進学予定の合格者 → 2年延期
2. 大学院修士課程\*1年次に在学中の合格者 → 1年延期

※ 延期期間終了までに専修免許状が取得できない → 採用無効

8 よくある質問

## 出願についてのQ&A

Q: 小学校の実技試験は、**音楽と英語**のどちらを選択した方が有利ですか？

A: どちらを選択しても、有利不利はありません。

自分の力をより発揮できる方を選択してください。

Q: 出願時に選択した実技試験(校種等)を、**後から変更**することはできますか？

A: できません。出願前によく検討して選択してください。

Q: **出願後**に英語資格の結果が届く場合は、加点申請を行うことはできますか？

A: できません。出願時点で英語資格の証明書の写しの提出が必要です。

Q: **司書教諭**講習の単位を年度内に取り終える予定です。加点申請を行うことはできますか？

A: できません。出願時点で司書教諭講習修了証書の写しの提出が必要です。

8 よくある質問



## 出願についてのQ&A

Q: 大学の通信課程で特別支援学校教諭の免許状を取得しようとしています。大学からは「**免許状取得見込証明書は出せない**」と言われましたが、加点申請はできますか？

A: (残念ながら) **できません**。

Q: 小学校の免許を所有しており、現在、大学の通信課程で特別支援学校教諭の免許状を取得しようとしています。**特支学校小学部を志願**することはできますか？

A: **できます**。ただし、合格後、**免許状が取得できない場合は採用できません**ので御注意下さい。

Q: 前年度「小学校」で受験し、二次で不合格となりました。今年度は「**前年度二次Bランク特選**」で受験しようと考えていますが、「**特支小学部**」を**併願**することはできますか？

A: (残念ながら) **できません**。前年度特選は、**前年度と同じ校種を受験する場合に限り有効**です。

8 よくある質問

HPは、更新されますのでチェックを！

「山形県」→「資格・試験・採用」→「山形県公立学校教員の採用について」

いつでも、何でも**相談**してください！！

山形県教育庁教職員課(県庁13階)

教員採用試験担当(働き方改革推進)	023-630-3406
小学校・中学校・特別支援学校	023-630-2864
高等学校	023-630-2863

臨時教員(講師等)は常に募集中！！

365日**常に募集**しており、**随時任用**(採用)しています  
**登録票(履歴書)**を提出した方と相談して、任用する学校が決まります  
フルタイムから数時間、一年間から年間数日と様々な任用があります

最後にお知らせです

令和5年度採用 山形県公立学校教員選考試験 第二次選考試験 合格者数一覧

	採用見込数	一次受験者数	二次受験者数	二次合格者数	
教諭・助教諭	—	714	448	330	
小学校	約185名	247	217	185	
(内) 小学校英語		11	11	11	
中学校 計		238	131	83	
国語	約85名	19	19	15	
社会		44	17	8	
数学		42	28	19	
理科		21	13	8	
音楽		16	12	6	
美術		8	8	5	
保健体育		61	12	6	
技術		2	2	2	
家庭		2	2	1	
英語		23	18	13	
特別支援学校 計			34	31	25
小学部		約25名	20	17	14
中学部	14		14	11	
高等学校 計		193	68	36	
国語	約35名	25	6	3	
世界史・日本史		20	3	2	
地理		7	3	1	
公民		10	3	1	
数学		27	11	7	
生物		14	3	1	
保健体育		37	6	4	
英語		15	5	3	
家庭		3	3	1	
情報		5	4	2	
農業		3	3	1	
機械		6	3	1	
電気		6	4	1	
建築		3	3	1	
土木		1	1	1	
商業		8	5	4	
看護		1	1	1	
福祉		2	1	1	
スポーツ特別選考	若干名	2	1	1	
養護教諭	約15名	67	22	16	
栄養教諭	若干名	10	3	1	
合 計	—	791	473	347	

講師等特別選考の二次合格者数：40名  
 現職教員特別選考Ⅰの二次合格者数：38名  
 現職教員特別選考Ⅱの二次合格者数：4名  
 大学推薦特別選考の二次合格者数：40名  
 社会人特別選考の二次合格者数：2名  
 前年度一次試験合格者特別選考の二次合格者数：20名  
 障がい者特別選考の二次合格者数：1名  
 スポーツ特別選考の二次合格者数：1名  
 ※スポーツ特別選考を除く特別選考の受験者数及び二次合格者数は、いずれも表中の内数

# 未来を担う子どもたちに夢と希望を！

山形県教育委員会

子どもたちも素敵な先輩たちも、皆さんを待っています！

## 東海林 湧起 先生 (令和2年度採用・東根市立東根小学校教諭)

教員になって3年。困ったことがあると一緒に悩んでくれる先生方、毎朝見守り活動で子どもに声をかけてくださる地域のみなさん。山形は、人と人の温かなつながりが深いところです。私は、同僚の先生方や地域・保護者の方に支えられながら、日々、やりがいを感じています。



私は今、社会科に力を入れています。「こんな秘密があったのか」と子どもが驚いたり、「もっと謎を解決していいですか」と意欲的に学習に取り組んだりする姿を見ると、教師の原点である「教えることの楽しさ」を感じます。私の想像をはるかに超える考えや問いが子どもから生まれたときは、私自身もともに探究し、課題が解決できた時は子どもと一緒に大喜びします。

教師は子どもの未来を支える仕事です。山形県の教員を目指しているみなさん、山形の、そして世界の未来を切り拓く子どもたちと一緒に育てていきましょう。

## 佐藤 早希 先生 (令和元年度採用・新庄市立新庄中学校教諭(数学))

「数学が好き」「数学が楽しい」という生徒で学校が溢れることが数学教師としての私の目標です。数学が苦手な生徒から、「今日の授業よく分かって、楽しかったです」という言葉を聞いたとき、更に子どものために頑張ろうという気持ちを強く持ちました。そんな授業を1時間でも多く行うため、研修に参加したり、先輩の先生方からアドバイスをいただいたりしながら授業づくりを頑張っています。

また、担任として生徒と共に地域の行事に参加することも私のやりがいの1つです。山形県の学校は、地域の行事に積極的に参加することができる環境が整っており、人と関わる機会が多くあります。中学校3年間で様々な人と関わり、大きく成長する生徒を見届けられることがとても嬉しいです。

大変なことも多くありますが、心を込めて取り組むことのできる仕事です。山形県の生徒たちを共に支えていきましょう！



## 古原 穂乃香 先生 (平成29年度採用・県立長井高等学校教諭(国語))



卒業後の進路について生徒一人ひとりと向き合って一緒に考える時間が充実していて私は好きです。無限の可能性を秘めた生徒たちには、悩みながらも歩みを進めようとする力強さがあります。そんな生徒たちから学ぶことも多く、自分自身も成長できる、それがこの仕事の魅力です。部活動では、日々努力を重ねる生徒を一番近くで応援し、時には共に汗を流すことで喜びも悔しさも共に分かち合います。目を輝かせて本気で何かに取り組む生徒の姿には何度も心打たれました。そんな私は現在、授業で生徒の心を掴む教員になるべく、日々奮闘中です。

まだまだ悩むことも少なくありませんが、教員として初めての卒業式でもらった「将来いい大人になって先生に会いに行きます」の言葉を支えに今日も教室へ向かいます。一緒に、未来をつくる人づくりをしませんか？



## 松田 知也 先生 (令和元年度採用・県立楯岡特別支援学校教諭)

特別支援学校の魅力は、子どもたちに合わせたコミュニケーションの形を考えていくところです。やり取りができ、学習への理解につながったときは、仕事のやりがいを感じます。また、授業後に「分からないところが、少しずつ分かってきた。」と生徒から言われたときは、成長をうれしく感じました。

現在は授業づくりに力を入れています。手立てを通して「分かった。できた。」の経験を積み重ねることができる授業にするため、生徒に合った補助具の検討や視覚支援の作成に取り組んでいます。

子どもたちに合わせた授業設定や教材の工夫に苦労するときもありますが、やりがいも大きく感じられる仕事です。山形県の教員を目指してみませんか。



## 伊藤 陽奈恵 先生 (令和2年度採用・遊佐町立吹浦小学校養護教諭)



小学校では、子どもたちの「できた」の声がたくさん聞こえ、何事にも挑戦し成長していく姿を間近で見られることに、喜びを感じます。

私は、子どもの変化やサインに気付けるように、校内の見回りをしています。休み時間は子どもたちのありのままの姿が見られるため、子ども同士のかかわりなどを見て日頃の様子を把握するようにしています。けがの手当てや悩みの相談、「次は何の授業？」などの何気ない会話の後、「ありがとうございました」と言って笑顔で教室に戻る子どもを見ると、養護教諭としてのやりがいを感じます。

子どもたちの心身の健康のために適切な見極めや判断力が求められる仕事ではありますが、子どもたちや保護者の方々、周りの先生方に支えていただきながら毎日楽しく過ごしています。山形県の未来を担う子どもたちと一緒に育てていきましょう！

## 鈴木 梨菜 先生 (平成29年度採用・高島町立糠野目小学校栄養教諭)

栄養教諭は、子どもたちの心と体の健康や成長を支える大きな役割を担っています。学校に一人しかいない職種であるため、調理師をはじめ、先生方や食材を届けてくださる地域の方々と連携しながら、食育の基本となる「安全・安心でおいしい学校給食の提供」のために日々の仕事を頑張っています。

現在私は、子どもたちが食べることの楽しさや大切さを感じ、食に関わる人と命のつながりに対する感謝の心を育む食育に力を注いでいます。この目標に向かって子どもたちのために献立を作成し、食育指導の手立てを考え実践する事にとってもやりがいを感じています。子どもたちの変容を見取れることも、大きな喜びです。

子どもたちの命を預かる大きな責任が伴いますが、これからの未来を担う子どもたちのために、ぜひ一緒に仕事をしましょう！



### 教員選考試験に関する問合せ先

山形県教育庁教職員課

電話 023-630-3406(教員採用担当)

もっと知りたい！ という方は山形県のホームページ、教員採用 Twitter をご覧ください



山形県ホームページ  
(教員選考試験)

教員採用 Twitter

